

いざ！という時に備えて ～わたしたちの防災～

今年も大雨のシーズンがやってきました。
近年、各地では水害、台風、地震などの災害が多発しております。災害を人ごとと思わず、普段から万が一に備えた対策を行いましょう。

◎問い合わせ 防災危機管理課 防災係 ☎37-0104

非常時持ち出し品・備蓄品を備えよう！

- 必要なものを各家庭で想定して優先順位をつけ、事前に準備しましょう。
- 置き場所を決めておきましょう。

▶常時持ち出し品
チェックリストはこちら



自宅などの状況を確認しよう！

- 自宅や学校・職場が注意を要する箇所に入っていないか、近くに危険な箇所がないかハザードマップなどで確認しましょう。

▶かんざきマップ



情報を収集しよう！

- 普段からテレビやラジオ、インターネットで、気象情報や災害情報に注意を払いましょう。
- 市からの情報に注意し、近所の人たちと情報交換しましょう。

避難場所を確認しよう！

- 自宅に近い避難所を2箇所以上確認しておきましょう。
- 避難所まで実際に歩いてみて、危険想定箇所を避けるなど、避難経路を確認しておきましょう。

神埼市の早期避難所

避難所の開設は防災行政無線や防災メール、市ホームページでお知らせします。

神埼町	神埼市中央公民館
千代田町	千代田交流センター
脊振町	脊振交流センター

※市の指定避難所に自主避難する場合は開設されているか確認し、食料や毛布など必需品は各自で準備の上、避難してください。

※その他の指定避難所は市ホームページなどで確認してください。

神埼市の防災情報を電話やメールで確認できます！

- ◆防災行政無線放送内容の電話での確認（通話料がかかります）☎51-1260
- ◆神埼市防災メール ※登録したアドレスにメールで配信します

登録方法

- ①下記URLもしくはQRコードからアクセスしてください。
【<http://www.bousai.city.kanzaki.saga.jp/mail/pub/>】
- ②「新規登録」ボタンを押し、空メールを送信。
- ③メールが届いたら、記載されているURLにアクセス。
- ④登録フォームに必要事項を入力。
- ⑤登録完了メールが届きます。

▶神埼市防災メール





浸水被害の軽減への取り組み

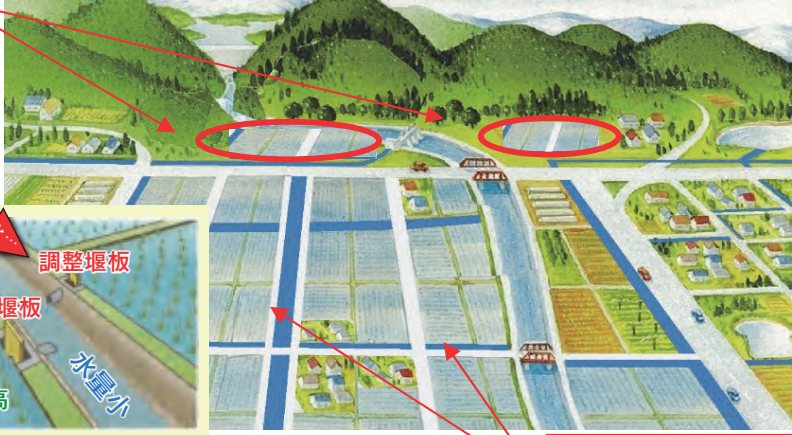
皆さんの協力で浸水被害の軽減に取り組んでいます

田んぼダムは、上流域の農業者の皆さんの協力により、下流域の浸水軽減に取り組むものです。下流域の農業者の皆さんもクリークの事前放流に取り組まれており、地域全体での取り組みが浸水軽減につながっています。


**上流域
田んぼダム**

※「田んぼダム」とは、田んぼの排水口に切り欠きの入った堰板（せきいた）を設置し、大雨時に田んぼからの水の流出を抑制するもので、一時的に雨水を貯め、排水路などの急激な水位上昇を防ぎます。



**下流域
クリークの事前放流**



通常水位
事前放流後

※「クリークの事前放流」とは、大雨の前にゲートなどを操作してクリークの水位を下げ、大雨時の貯留容量を確保する取り組みです。

佐賀地方気象台ホームページのご案内

佐賀地方気象台のホームページでは次のような情報がご覧いただけます。

- 危険度分布
- 天気や気温の予想
- 注意報・警報の発表
- レーダー画像や解析雨量、アメダスでの観測データ



佐賀地方気象台




特設ページ
(佐賀地方気象台HP)

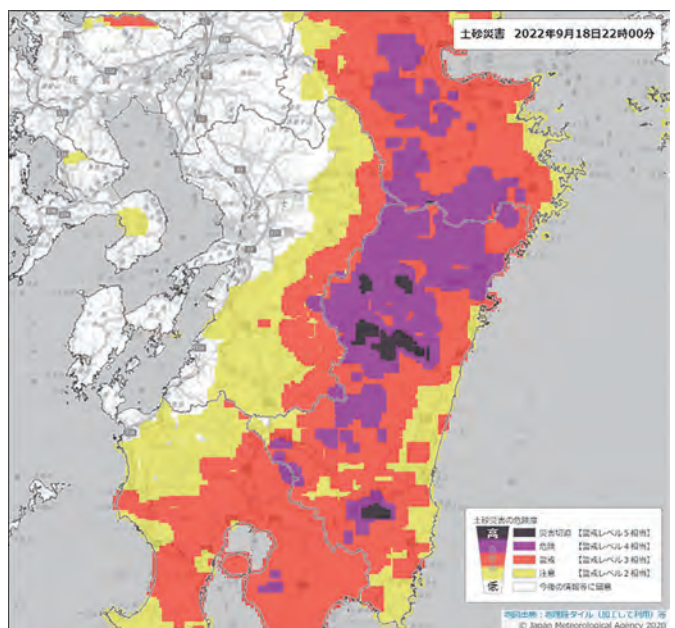
キキクル
(気象庁ホームページ)

**大雨災害から
大切な命を
守ろう！**

ゴロー はれるん かっちゃん

佐賀地方気象台では、大雨の災害リスクの高まりを伝える『キキクル』（警報の危険度分布）のアニメーション動画を特設ページで公開しています。是非ご覧ください！

※はれるんは、気象庁のマスコットキャラクターです。ゴローとかっちゃんは、佐賀地方気象台のオリジナルキャラクターです



令和4年台風14号の状況（危険度分布）

出典：気象庁

3/23 身体障害者福祉協会のフライングディスク大会 親睦を深めながらスポーツに親しむ

神崎市身体障害者福祉協会主催のフライングディスク大会が神崎市中央公民館で開催され、20人が参加し、お互いの技を競い合いました。

この協会の会員は、身体障害者手帳を持った人で構成されており、会長の筒井信秀さんは「大会を通して親睦を深め、スポーツに親しむ場になれば」と話しました。

同協会は、県や九州ブロックで開催されるフライングディスクやグラウンドゴルフ大会等へも毎年出場し、好成績を収められています。



4/21 レッドトルネード シーズン報告 来シーズンはプレーオフ進出を

トヨタ紡織九州株式会社のハンドボールチーム「レッドトルネード」の監督や選手が、市長を表敬訪問し、昨シーズンの報告をしました。

岩本監督は「5位という結果でプレーオフに進出できなかったことはもどかしいが、それを乗り越えていきたい」と話しました。また、キャプテンの荒川選手は「選手一丸となって来シーズンに臨みたい」と意気込みを語りました。市長は「ぜひプレーオフに進出できるよう応援しています」と述べました。



4/22 第5回かんざき神幸食フェスタ 春の行楽日和に1万4000人が舌鼓



長崎街道門前広場で「第5回かんざき神幸食フェスタ」が開かれ、神崎市自慢の食が一堂に会しました。2日間とも行楽日和で、家族連れなど約1万4000人が訪れてにぎわいました。

会場には佐賀牛ステーキやおでん、鶏の塩レモン焼きなど、屋台やキッチンカー30店が並びました。来場者はステージで披露される演奏やダンス、プロレスといった多彩なショーを楽しみながら、ビールを片手に「神崎グルメ」を味わいました。

鹿島市から訪れた小池香織さんは「美味しいものがたくさんあって、楽しいイベントですね」と笑顔。

実行委員長の城尾竜司さんは「天気にも恵まれてたくさんの方に来ていただきました。皆さんの力をお借りしながら、地元神崎の魅力をもっともっと紹介できるフェスタにしていきたいと考えています。次回も楽しみにしててください」と感謝を述べました。

5/4/5 第8回神崎市長杯九州中学生選抜ハンドボール大会 神崎中・女子優勝、男子は準優勝

第8回神崎市長杯九州中学生選抜ハンドボール大会が、神崎中央公園体育館などで開かれました。九州各県から男女合わせて24チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

素早いパスから一気にシュート、力強いゴールが決まるたびに大きな歓声が沸いていました。

この大会は、コロナ禍で4年ぶりに開催されたもので、女子は神崎中が大牟田ライラックに21対11で見事勝利し、優勝。男子は神崎中が決勝戦で惜しくも敗れ準優勝でした。



▲女子最優秀選手賞 神崎中 田中柚希さん

5/10/12 春の交通安全県民運動 街頭キャンペーンで事故防止呼びかけ

「春の交通安全県民運動」に合わせ、10日に国道34号歩道沿い（神崎町本告牟田）で株式会社未来ケアグループみらいスイッチ神崎の協力を得て、街頭キャンペーンを行いました。

また、12日には麺物語本舗駐車場（神崎町横武）でヤクルト食品工業株式会社の協力を得て、同キャンペーンを行い、交通安全啓発ののぼり旗等を用いてPR。交通安全グッズを配布するなど、ドライバーに事故防止を呼びかけました。



5/16 神崎建設業協会カーブミラー清掃活動 交通事故防止と地域の安心安全を願い

神崎建設業協会によるカーブミラーの清掃活動が市内で行われ、33人が参加し約350カ所を清掃しました。

この活動は、春と秋の交通安全県民運動に合わせて行われており、出発式では、同協会の牟田正明会長が「今年は昨年に比べて交通事故が増加している。この活動を通して、交通事故防止と地域の安心安全に寄与したい」と話しました。

参加者は、安全ベルトを装着し、カーブミラーを1枚1枚丁寧に磨き上げていきました。



5/16 佐賀東信用組合から子育て支援に寄付

佐賀東信用組合から子育て支援に寄与することを目的とした寄付金をいただきました。

これは「まち・ひと・しごと創生」に関する取り組みとして、市と連携協定を結ぶ同組合が「とうしんカルガモ定期預金」の契約額に応じた金額を寄付されるものです。

市長は「大変ありがたく、子育て世代に元気になってもらうため活用させていただきます」と感謝しました。

この定期預金は平成29年度から実施されており、今年度も取り扱われています。

